

## 第3次香川県がん対策推進計画を推進するための各団体等の取組みについて

分野別施策 (個別目標)	令和5年度の取組み（見込みも含む）
科学的根拠に 基づくがん予 防・がん検診 の充実  (がん発症予 防の推進)	<p><b>香川県薬剤師会</b></p> <p>○学校薬剤師による喫煙防止教育の出前講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学生対象の大麻を含む薬物乱用防止とタバコの害についてのパワーポイントの作成。多くの学校薬剤師が自分の担当校で薬物乱用(喫煙防止を含む)防止教室が出来るようなものを作成する予定。(香川県学校薬剤師会を中心に公益財団法人香川県予防医学協会と協力して、小学校を中心に学校薬剤師による喫煙防止教育の出前講座を行っている。香川県においては小学校での薬物乱用防止教室の開催率 20%弱で全国に比べて低い状況にあります。)</li> </ul>
科学的根拠に 基づくがん予 防・がん検診 の充実  (がんの早期 発見・早期治 療の推進)	<p><b>公益財団法人 香川県総合健診協会</b></p> <p>○がんに関する正しい知識の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子宮頸がん予防イベント           <p>子宮頸がん検診の大切さとHPV ワクチン接種について、特に若い世代に楽しく学んでもらうことを目的として、7月16日(日)に丸亀町レッツホールで種部恭子氏(医師)・岸畑聖月氏(助産師)を招いての講演会や、丸亀町壱番街前ドーム広場でKJ0 フルートアンサンブルコンサートを開催した。今後もAYA世代を対象とした正しい知識の普及啓発に効果的なキャンペーンやイベントを展開したいと考えている。</p> </li> <li>リレー・フォー・ライフ(RFL)かがわ高松の活動           <p>がん患者様やそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん征圧を目指す年間を通じてのチャリティー活動を行い、その総括としてのリレーウォークを9月15日(金)～16日(土)にサンポート高松において開催した。</p> <p>この活動を通じて全国から集まった寄付金は、がんの悩み相談室やがんの啓発セミナーの開催、若手医師育成支援などに役立てられている。この活動の主体のひとつであるがん患者様等の年齢構成が高齢化してきており、今後の活動をどのように推進すべきか苦慮しているところである。</p> </li> </ul> <p><b>一般社団法人 香川県診療放射線技師会</b></p> <p>○市民公開講座(秋期研修会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『乳がん検診をうけてみませんか?』というテーマで、令和5年11月25日(土)香川県立文書館2F視聴覚ホールにて市民公開講座(秋期研修会)を開催した。</li> </ul> <p>高松赤十字病院 胸部乳腺外科 法村尚子医師 のほか、診療放射線技師2名の発表も加え、乳がん検診が大切な理由や、マンモグラフィ・乳腺超音波検査の特徴について講演された。</p> <p>定員100名(参加者無料)とし、四国新聞、リビング高松への折り込み広告やインスタグラムの活用のほか、ことでのん中吊り広告ジャックを行うなどの広報を行い、当会会員40名、一般56名の参加を得た。</p> <p>一般の参加者は、40代以降の女性がほとんどで、新聞やリビングへの折り込みチラシによる来場者が半数を占めた。事後のアンケートでは好意的な回答が多く、肺がんなど他の健診についての講演を希望する声も多かった。</p>

	<p><b>一般社団法人 香川県臨床検査技師会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康フェスタ in フジグラン丸亀」(令和5年9月24日) がん予防に関するパネル展示を行った。</li> <li>・「検査と健康展」(令和5年11月11日) 香川県立保健医療大学 大学祭と共催。がん予防に関するパネル展示とパンフレットの配布を行った。</li> </ul>
<p>尊厳を持って 安心して暮ら せる社会の構 築</p>	<p><b>香川県薬剤師会</b></p> <p>○「教育講演会・いのちの授業」 特別講演「人はがんとどう向き合うか?」。 今年度は公益財団法人日本対がん協会会長の垣添忠生先生。 日時：令和6年2月18日(日)14時～16時 場所：高松シンボルタワー6F かがわ香川国際会議場</p> <p><b>がん患者会ネットワークかがわ</b></p> <p>○患者団体の社会貢献活動を通して、がん患者が生きる意味や自らの価値を再認識でき、自分らしく安心して暮らせる社会の実現を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各患者会の状況把握とともに、県や関係機関からの情報を各患者会に共有している。</li> <li>・がん患者会ネットワークかがわのホームページの管理を行っている。</li> <li>・第6回がん患者会ネットワークかがわ講演会(7月21日) “防災力も患者力！災害への備えを学ぼう” 講師：香川大学医学部公衆衛生学 平尾智広 教授</li> <li>・令和5年度ピアサポート研修会(11月5日) 香川県・日本サイコオンコロジー学会の主催で開催。</li> <li>・がんピア・サポーター派遣(研修会修了者) 「丸亀労災病院がんサロンつなぐ」にピア・サポーターとして参加(副会長 中矢)</li> <li>・がん患者のためのお料理教室「いのちのスープ」(11月18日)</li> <li>・禁煙授業(小学校)を見学(12月21日)</li> </ul> <p>(各患者会の取組み)</p> <p><b>さぬきの絆</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話相談 メール・グループライン・ショートメール等を利用して会員様やその他の方と相談も実施。必要時他の患者会や相談支援センター、拠点病院のがんサロン、いのちの電話、対がん協会の電話相談等を紹介。</li> <li>・広報「絆だより」で、がん・講演会等の案内等を掲載(年4回発行)。今年度は、新型コロナウイルスの5類移行や、国の第4期がん対策推進基本計画を分かりやすく掲載。</li> </ul>

- ・リレーフォーライフの実行委員として参加。
- ・2023年7月から第2日曜日に13時～事務局2階のフロアで交流会を開催。

### あけぼの香川

- ・がん患者等に対する相談委託業務  
電話相談業務 代表個人の電話による相談（随時）  
がん患者等による相談業務 相談会やおしゃべり会での相談（月1回程度）  
専門家等による相談業務 乳がん相談会 年3回（6・9・2月）  
※今年度はコロナの状況をみながらオンラインやリアル開催で相談会を実施。

### 肺がん患者サロン なでしこ

- ・電話相談、オンライン交流会、相談会、セミナー開催  
令和5年度の活動は次のとおり。

- ①オンライン交流会・相談会4月、5月、7月、8月、10月に開催。
- ②7月23日(日)、がん患者会ネットワークかがわ第6回講演会を企画・運営
- ③8月19日20日、全がん連主催「がん患者学会2023(大阪医科薬科大学)」出席
- ④11月2日～4日、第64回日本肺癌学会学術集会PAP参加(千葉県幕張メッセ)
- ⑤11月21日(火)、三豊市の小学校にて6年生を対象に行われた「禁煙授業」を見学
- ⑥その他

川崎医科大学総合医療センターがんサロンと連携した活動(ファシリテータ、ピアサポーター)。国立がん研究センターがん情報サービス患者・市民パネル(2名)検討会に参加。2024年2月第21回日本臨床腫瘍学会学術集会PAP(名古屋国際会議場)参加予定。3月呼吸器内科医によるオンラインセミナー開催予定。

ホームページ、SNSを活用した情報の共有、発信。

### 高松赤十字病院 笑美の会

- ・笑美の会通信を年4回程度発行し、講演会等の案内や正しい情報の伝達。
- ・コロナの状況をみながら交流会や食事会、リモート等による勉強会を実施している。

### 香川がん患者おしゃべり会

- ・がん患者等に対する相談委託業務 電話及びライン相談、希望者に対して面談による相談を行っている。

### 香川喉友会

- ・発声練習を2か所で行っている。高松教室は県総合リハビリセンターで、丸亀教室は香川労災病院管理棟で、共に月2回午後13時～1時間程実施している。
- ・今はコロナの状況をみながら実施している。

### 特定非営利活動法人 未来 ISSEY

特定非営利活動法人 未来 ISSEY

小児がん学習・復学支援として、以下の事業を実施。

- ・会いたいをつなげる「つなごロボット貸出事業」

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今を支えるグッドブラザー（学生ボランティア）による学習・復学事業</li> <li>・ともにつくる「映像・絵本作成事業」</li> <li>・不安に寄り添う「心のサポート事業」</li> <li>・つたえる「講演・広報事業・HP で情報発信事業」</li> <li>・未来をみつめる</li> <li>・スキル獲得講座・お仕事成功体験の開催</li> </ul>
<p>がん対策を支える基盤の整備</p>	<p><b>香川県看護協会</b></p> <p>○がんに関する専門職研修・普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度は現場の要望等を踏まえ、がん看護として、12月「がん患者・家族の意思決定支援」・「地域での療養支援と看取りを実現するための看護介入 QOL の維持向上」、令和5年1月「がん薬物療法の治療を受ける患者・家族への日常生活支援」をテーマに研修会を開催した。延べ47施設から116名が参加した。</li> <li>・今年度は、「がん薬物療法中のセルフケア支援」「地域での療養生活と看取りを実現するための最適な看護介入と QOL の維持向上」「外来における在宅療養支援能力向上のための研修」の研修を企画している。</li> <li>・今後、オンデマンド研修なども導入し、受講が容易になるよう工夫した取り組みを行う。</li> </ul> <p>○がん教育ゲストティーチャーへの協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会から依頼があり、昨年度は、小・中学校19校26クラスに21名のがん看護専門看護師等を派遣した。</li> <li>・今年度は、小・中学校11校20クラスから要望があり、17名のがん看護専門看護師等を紹介した。</li> <li>・今後、学校におけるがん教育の外部講師としての役割を担う体制について、検討を予定している。</li> </ul>